

# 3 1つのアドレスで自在に使い分け ~メールアドレスの秘密

Gmailのアドレス自体は、一見何の変哲もありません。  
しかしこのメールアドレスには、ちょっとした仕掛けがあるのです。

## +を付けるだけで…

本来のメールアドレスの後ろに「+」を付け、さらにその後ろに任意の文字列を付けたメールアドレスにメールを送っても、「+」以下を除いたアドレスにメールが届くのです。

つまり、「ichiro+office@gmail.com」と「ichiro+home@gmail.com」のどちらにメールを送っても、メールは「ichiro@gmail.com」に届くというわけです。

## 使い分けのメリット

現在、メーリングリストの登録やオンラインショッピングなど、あらゆる場面でメールアドレスを登録する必要があります。そんな中、Gmailの「+」を使ってメールアドレスを加工できるという機能は、非常に便利に活用できます。

### ■+以下の文字列で使い分け

たとえば、通常「ichiro@gmail.com」を使っているなら、メーリングリストに登録する際は「ichiro+ml@gmail.com」というアドレスを使い、オンラインショッピングでの登録の際には「ichiro+shopping@gmail.com」というアドレスを使って登

録します。このようにアドレスを分けることで、フィルタを使った分類が容易になるのです。

### ■+以下の文字列でらくらく分類

Gmailのフィルタは送信先として「+」以下が含まれたメールアドレスを認識してくれます。そのためフィルタを利用して自動的に届いたメールにラベルを付けたり、受信箱をスキップさせたりすることが可能になるのです。

さまざまなメールアドレス登録の際にアドレスを使い分けておけば、どこからかメールアドレスが漏れてspamメールが送られてきたとき、どこから漏れたのかも一目瞭然です。

## ピリオドは無視

さらに、Gmailではピリオドの扱いも変わっています。Gmailのアドレスは登録時に入力した本名を元に自動生成されるので「ichiro.yamada」のようにピリオドで区切られたアドレスを利用している人が多いのですが、Gmailはアドレス中のピリオドを「存在しないもの」として扱うため「ichiro.yamada@gmail.com」や「i.chi.royamada@gmail.com」でも、「ichiro.yamada@gmail.com」にメールが届いてしまうのです。

## Column

### AND 検索と OR 検索の組み合わせ

括弧を利用することで、OR検索とAND検索を複雑に組み合わせた検索も可能になります。

たとえば未読で添付ファイルがあるか、既読で「仕事」というラベルが付いたメールを検索するので

あれば、「(is:unread filename:pdf) OR (is:read label:仕事)」となるでしょう。

キーワードの組み合わせ次第でかなり複雑な条件での検索が可能になります。